

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和4年7月22日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和4年8月25日（木）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂地域における消費生活相談	1
(賀茂広域消費生活センター)	

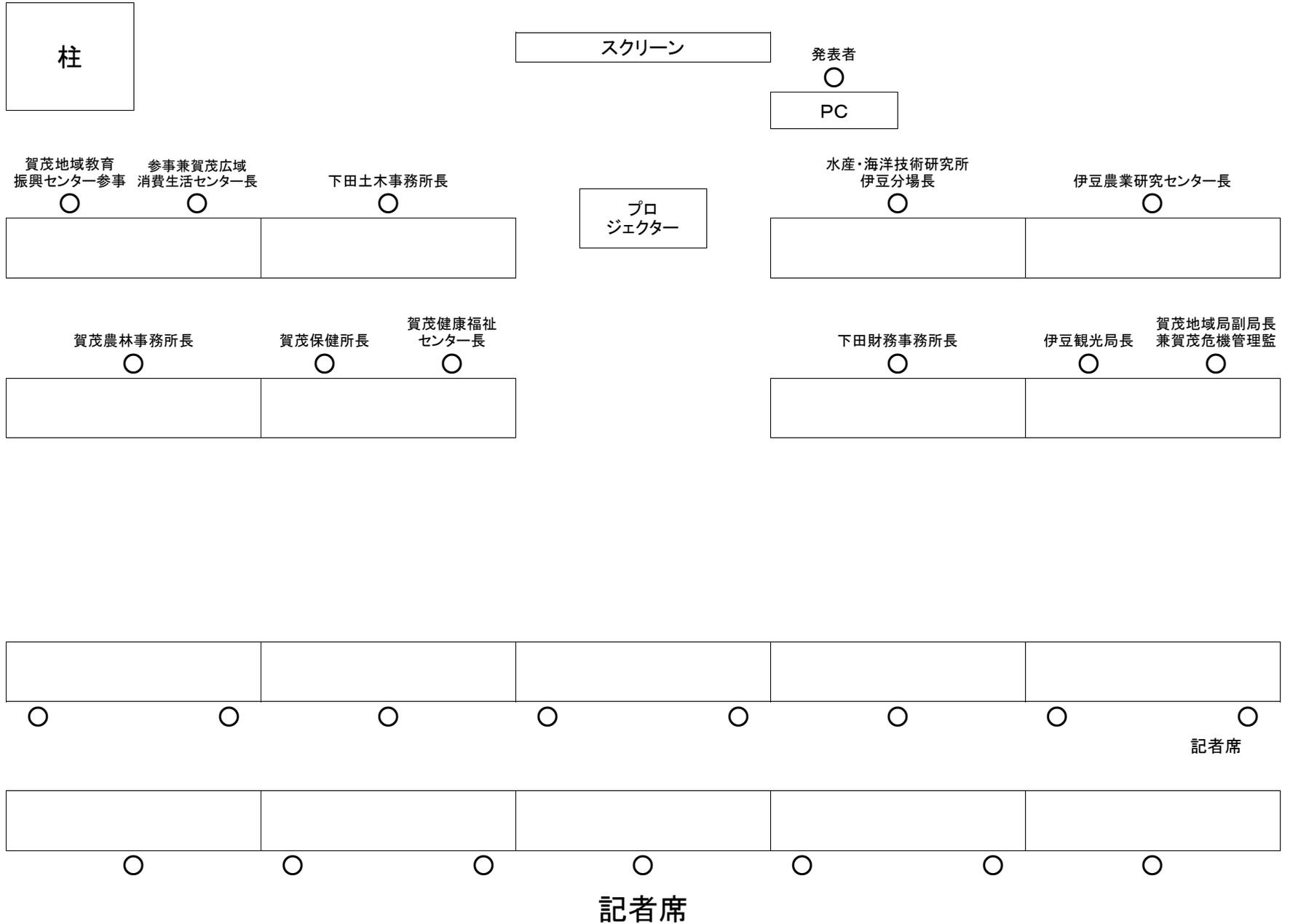
◎8月の行事予定

行事予定表	10
賀茂キャンパスを活用した取組（8月予定分）	12
(賀茂地域局地域課)	
防災講座の開催	13
(賀茂地域局危機管理課)	
伊豆・富士山歴史絵巻 WEB スタンプラリーについて	14
(伊豆観光局)	
研究所夜間公開の実施	17
(水産・海洋技術研究所伊豆分場)	
消費生活出前講座の実施（8月予定分）	18
(賀茂広域消費生活センター)	

参加者名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
2	伊豆観光局長	やながわ のりゆき 柳川 典之
3	下田財務事務所長	はらだ なおあき 原田 直彰
4	賀茂健康福祉センター所長	たなか ひさし 田中 尚
5	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健 所長	ほんま よしゆき 本間 善之
6	賀茂農林事務所長	やぶざき たけひこ 藪崎 武彦
7	農林技術研究所伊豆農業研究センター 長	たねいし もとひろ 種石 始弘
8	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	すずき もとお 鈴木 基生
9	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
10	賀茂広域消費生活センター所長	まつなが としの 松永 俊乃
11	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
12	賀茂地域局次長兼地域課長	あおき かつひろ 青木 克裕
13	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表 (下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



次長兼
地域課長 ○

参事兼
危機管理課長 ○

出入口

賀茂地域における消費生活相談

賀茂広域消費生活センター



賀茂広域消費生活センター

- ・平成28年4月開所
- ・全国で唯一の県と市町が共同設置した消費生活センター

○ センターの概要 (予算：7,637千円)

職員	所長、消費生活相談員、県民相談員
市町の業務	消費生活相談、消費者教育
県の業務	県民相談

○ 消費生活相談受付件数推移

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
受付件数	75 (市町受付)	222	253	266	233	265	203
対H27比		2.96倍	3.37倍	3.55倍	3.11倍	3.53倍	2.71倍

賀茂地域では単独市町での消費生活センター設置は財政的・人的に困難であったため、消費者庁の交付金を活用して県と6市町が共同で賀茂広域消費生活センターを設置した

市町の業務：消費生活相談、消費者教育

県の業務：県民相談

場所：県下田総合庁舎6階

職員：所長、消費生活相談員、県民相談員（身分は県の職員）

センターの開設により、潜在化していた消費者トラブルや相談が掘り起こされ、相談件数は増加している。

専門的な立場からの助言やあっせんが可能となり、地域住民の安心につながっている。

消費生活相談件数

相談件数 【相談者住所別】 (令和4年6月30日現在)

下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他・不明	計
23	9	3	11	4	7	0	57

主な相談 (令和4年6月30日現在)

主な相談	内 容	件数
定期購入のトラブル	・化粧品や電子たばこなど、1回だけのつもりで注文したら定期購入になっており解約できない	11
もうけ話のトラブル	・大金が当選した(4件) ・SNSで知り合った人から投資に誘われた(2件) ・簡単に儲かる副業(2件)	8
通信販売のトラブル (定期購入除く)	・注文した商品が届かない、偽物が届いたなど	6

今年度に入って3か月間の相談 …… 57件

主な相談

- ・定期購入のトラブル …… 11件 (令和3年度は1年間で13件)
- ・もうけ話のトラブル …… 8件 (令和3年度：当選2件、投資5件、副業7件)
- ・通信販売のトラブル …… 6件 (令和3年度は1年間で29件)

昨年度から件数も多く、被害金額も大きい「もうけ話」のトラブルを中心に、手口と気をつけたい点を紹介

「お金あげます」トラブル

携帯のメールに「3億円当選しました！」とか「9億円の受取り人にあなたが選ばれました」などというメッセージが届き、お金を受け取るための手続きと称して何度も電子マネーを買わされた



携帯・スマホのメールに突然「3億円当選しました」とか「9億円の受取人にあなたが選ばれました」などというメッセージが届き、添付されているURLにアクセスすると、

- ・登録費用
- ・高額な金額を振り込むための金額設定の上限解除のため
- ・送金のエラー解除のため

など、色々な名目でお金を払わされる。

支払方法はおもにコンビニでプリペイド型電子マネーを購入させ、そこに書いてある番号を教えるように指示する。

結局お金はもらえない。

「副業」や「投資」トラブル

<きっかけ>

- ・ネットで「不労所得」検索
- ・マッチングアプリや出会い系サイトで知り合った人から勧められた

<事例>

- ・「誰でも簡単に儲かる」マニュアルを購入したがもうからない。さらに電話で高額サポート契約をさせられた
- ・勧められて暗号資産へ投資した。増えた資金を引き出そうとしたができず、引出す手続きのため何十万円も支払ったが、相手と連絡が取れなくなった



「1日5分で月収100万円」、「FX自動売買ツールに任せておけば何もなくてももうかる」など、簡単にもうかる話に手を出してトラブルに巻き込まれる相談が多い

コロナ禍で減った収入を補いたいという気持ちを狙った悪質な商法

自分から「不労所得」などと検索して、ヒットしたサイトにアクセスしてしまうパターンと、SNSで知り合った人から誘われるパターンがある

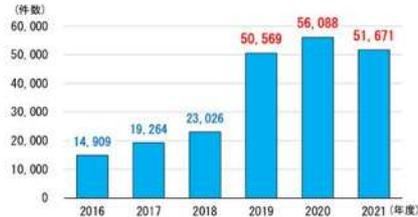
副業：「簡単にもうかるマニュアル」の内容は購入するまでわからず、実際はまったく役に立たない内容。マニュアルを購入した人に、「もうかるようサポートする契約」を持ちかけ、高額な契約をさせる

投資：「自分もやっているから」と最初は少額の投資をさせ、もうかったように装い信用させ、どんどん投資額を増やさせる。偽の画面上儲かったように見せかけ、いざお金を引き出そうとすると引き出せず、引き出すために必要と「税金」数十万円を払わせる。おかしいと思い拒否すると、警察に捕まると脅されることもある

定期購入トラブル

化粧品が安くなっていたのでお試しと思って買ったが、翌月も定価で届き、驚いて事業者に連絡すると4回の継続購入が条件になっていて途中解約できないといわれた

図 P10-NETTMにみる通信販売での健康食品等の「定期購入」に関する相談件数の推移
(2016年度から2021年度までの受付分[2022年4月30日までの登録分])



令和4年6月1日から 特定商取引法が改正になりました

- ・最終確認画面でのわかりやすい表示が義務づけとなった
- ・間違えて購入した消費者は契約取消することができるようになった

定期購入のトラブルは今年度に入ってもとても多い。消費者白書でもコロナが広まった2019年度以降急激に増えている。

全国の相談が法律改正につながり、改正された特商法が6月1日から施行された。

- 販売業者は取引における基本的な事項を**最終確認画面等で明確に表示すること**が義務づけられた
 - ・継続購入条件
 - ・2回目以降はいくらか
 - ・総支払額はいくらか
 - ・解除の条件は
 - ・支払時期 …… など
- 販売業者の表示を誤認して申込みをした消費者は、申込みを**取り消すことができる**ことになった

被害に遭わないための注意点

- ・簡単に儲かる話はない
- ・SNSで知り合った人を簡単に信用しない
- ・インターネット通販の画面はしっかり確認する

悪質商法の被害に遭わないために、消費者も注意が必要

- ・簡単にもうかる話はない
- ・SNSで知り合った人を簡単に信用しない
- ・インターネット通販の画面はしっかり確認する
(通信販売はクーリング・オフできません。購入や解約の条件は事業者のルールに従います)

出前講座の活用を

いったん支払ってしまったお金を取り戻すことは大変困難です。

センターでは悪質商法の手口を知ってもらい、消費者被害を未然に防いでもらうため、出前講座をやっていきます。

地域や趣味の集まりなど、気軽にお声かけください。



消費生活センターでは、支払ってしまったお金を取り戻す手伝いもするが、相手の連絡先がわからなかったり、お金の流れが追えなかったりと、いったん支払ってしまったものを取り戻すのは大変困難

⇒ 被害を未然防止するためには啓発が大切

賀茂広域消費生活センターの消費生活出前講座のご活用を！

- ・どこでも行きます
- ・内容や時間は相談に応じます
- ・無料です

困ったら相談！

困ったな、と思ったら賀茂広域消費生活センター
に相談してください

賀茂広域消費生活センター

0558-24-2299

又は

188(ダメされるのは「いやや」)
1 8 8

何か変だ、困ったな、と思ったら賀茂広域消費生活センターにご相談ください
あなたの相談は、社会をよくすることにも役立っています

0 5 5 8 - 2 4 - 2 2 9 9

全国共通消費者ホットライン「1 8 8」で、最寄りの消費生活センターにつながります

行事予定表（令和4年8月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	月					
2	火					
3	水	しずおか寺子屋in賀茂				
4	木	①職員向け防災講座 （下田認定こども園） ②しずおか寺子屋in賀茂 ①9:30～11:00 下田認定こども園				
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木	未来を切り拓くDream授業・賀茂版				
19	金	未来を切り拓くDream授業・賀茂版				
20	土	アカデミックサマースクール				
21	日					夏季観光シーズン道路工事自粛 (7/16～8/21)
22	月					
23	火					
24	水					
25	木	定例記者懇談会 (9:30～ 賀茂キャンパス)				
26	金	防災講座（朝日小学校） 10:30～12:10 朝日小学校				
27	土					
28	日					
29	月					
30	火	総合防災訓練 9:30～11:30				
31	水	防災講座（熱川小学校） 10:25～11:10 熱川小学校				

行事予定表（令和4年8月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金		県民の日イベント 研究所夜間公開			
13	土					
14	日					
15	月			13：30～15：00 特別法律相談		
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月					
23	火					
24	水			13：30～14：30 にこにこ会出前講座		
25	木					
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					
31	水					

賀茂キャンパスを活用した取組（8月分）

（賀茂地域局地域課）

（要旨）

賀茂地域の小・中学生及び高校生に夏休みを利用し、日頃できないことを経験してもらうために「しずおか寺子屋 in 賀茂」、「未来を切り拓く Dream 授業・賀茂版」、「アカデミックサマースクール」を開催する。

（内容）

①しずおか寺子屋 in 賀茂

年月日	令和4年8月3日（水）～4日（木）
場 所	賀茂教育会館（下田市東本郷2-12-4）、賀茂キャンパス
内 容	・賀茂地域の高校生や県内大学生が先生となり、賀茂地域の小・中学生の学習支援をする ・学習支援終了後、高校生と大学生の交流や大学のプレゼミ等を実施予定
参加 予定者	賀茂地域の小・中学生 各日60名程度 賀茂地域の高校生、県内大学生 など

②未来を切り拓く Dream 授業・賀茂版

年月日	令和4年8月18日（木）～19日（金）
場 所	賀茂キャンパス
内 容	・賀茂地域で活躍する講師陣による講義、フィールドワーク、グループワーク 講師：池上重弘（静岡県教育委員会教育長） 梅田直樹（VILLAGE INK 伊豆事業部 執行役員） 後藤清也（SEIKA Design 代表）、北川雅子（生涯学習事業講師） 八木健祥（静岡県立大学ツーリズム研究センター長） 等
参加 予定者	賀茂地域の中学1～2年生 30名程度

③アカデミックサマースクール

年月日	令和4年8月20日（土）
場 所	賀茂キャンパス
内 容	賀茂地域の高校生と静岡県立大学の学生と一緒にフィールドワークやグループワークを行う。 ※フィールドワーク場所は未定
参加 予定者	賀茂地域の高校生、静岡県立大学生

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催延期又は中止とする場合があります。

※各取組の詳細については開催日が近くなりましたら再度情報提供いたします。

担 当 : 賀茂地域局地域課

連絡先 : 0558-24-2204

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
8月4日(木) 9:30~11:00	下田認定こども園 (下田市)	職員	DIG	
8月26日(金) 10:30~12:10	朝日小学校 (下田市)	5年	DIG	
8月31日(水) 10:25~11:10	熱川小学校 (東伊豆町)	1・2年	防災かるた	

(計 3回)

- ・ **新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期の可能性が
あります。**

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 森（連絡先：0558-24-2004）

提供日 2022/06/30
 タイトル 第2弾 伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリー
 with 神奈川を開催します。
 担当 経営管理部 東部地域局地域課
 連絡先 東部地域局地域課 中村
 TEL 055-920-2139



第2弾 伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリーwith神奈川 ～静岡県・神奈川県に残る源頼朝・北条氏ゆかりの地を巡ろう～

静岡県では、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（NHK）の放送を契機とした誘客・広域周遊促進の取組を行っており、令和4年1月から2月に実施した「第1弾」に引き続き、伊豆・富士山地域内及び神奈川県内の歴史スポットを巡る「第2弾」のWebスタンプラリーを実施します。

特に今回は、神奈川県と連携し、神奈川県内にチェックポイントを設置することで、静岡県・神奈川県両県に渡る広域周遊を目指します。

静岡県の地場産品がもらえる来訪賞やさらに豪華な地場産品がもらえるパーフェクト賞など魅力的な景品を用意しているので、ぜひ、静岡県・神奈川県に残る源頼朝・北条氏ゆかりの地を巡ってみてください。

名称	第2弾 伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリーwith神奈川
期間	令和4年7月1日（金）～令和4年9月30日（金）
エリア	静岡県内伊豆・富士山地域（20市町）及び神奈川県内
チェックポイント	伊豆・富士山地域内99か所、神奈川県内13か所の計112か所
参加費	無料
スタンプ取得条件	QRコード読み取り又はGPS取得※
景品	スタンプの取得数等に応じて伊豆・富士山地域内の地場産品等を抽選で合計120名にプレゼント
その他	取得したスタンプを提示することで協力店舗（84店舗）で割引特典等が受けられます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

詳細は、公式ホームページ（<https://bushinokuni-shizuoka.jp/rally/>）を御覧ください。

【参考：神奈川県内のチェックポイント例】

- ・「鎌倉殿の13人 大河ドラマ館（鎌倉市）」：伊豆の国市とともに全国で2つ設置されている大河ドラマ館のうちの1つ。鶴岡八幡宮内に開設。
- ・「しとどの窟（足柄下郡湯河原町）」：石橋山の合戦に敗れた源頼朝が追っ手の目を逃れるために隠れたと言われる場所
- ・「史跡法華堂跡（北条義時墓）（鎌倉市）」：北条義時の供養のために建てられた墳墓堂があったとされる 等

問合せ先 静岡県東部地域局地域課 電話 055-920-2139

定例記者懇談会資料

令和3年度 「ぶしのくに静岡県」伊豆・富士山歴史絵巻 WEB スタンプラリー実施結果

(静岡県東部地域局・賀茂地域局)

1 概要

名 称	伊豆・富士山歴史絵巻 Web スタンプラリー
期 間	2022年1月9日～2月28日(51日間) ※2022年1月27日から終了日まで、まん延防止等重点措置期間に該当
チェックポイント (CP)	伊豆・富士山地域の歴史・観光資源96か所(20市町) スタンプ取得方法: QRコード、GPS、音声ガイド
参加者数	実人数: 1,793人(実際にスタンプを1個以上取得した人数) 延べ人数: 3,968人(日毎参加者数の合計) 一人あたり参加日数: 2.21日

・開催期間51日間のうち、33日間がまん延防止等重点措置期間となり、積極的な周知ができない中、約1,800人が実際に参加した。

・日毎参加者の延べ人数は3,968人であり、一人あたり平均2.2日参加した計算となる。

2 参加者の属性

(1) 年代別

(単位: 人)

年代	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
人数	8	29	83	204	498	673	249	43	5	1	1,793
内訳	男性	7	9	32	76	214	280	118	24	3	763
	女性	1	19	50	125	283	389	131	19	2	1,020
	他	0	1	1	3	1	4	0	0	0	10
年代別割合(%)	0.4	1.6	4.6	11.4	27.8	37.5	13.9	2.4	0.3	0.1	100%

・50代の参加者が一番多く、次に40代、60代、30代と続いた。50代と40代で全体の65.3%を占めた。

・ほとんどの年代において、男性よりも女性の参加者の方が多かった。

(2) 居住地別

	参加者	第1位	第2位	第3位	第4位
県内	1,314人	三島市 233人	沼津市 173人	富士市 168人	伊豆の国市 136人
県外	479人	神奈川県 211人	東京都 150人	埼玉県 27人	千葉県 24人
合計	1,793人				

・全体の参加者のうち、県内からの参加者が約7割、県外からの参加者が約3割であった。

・県内参加者のうち、約9割が、伊豆・富士山地域からの参加者だった。

・県外参加者については、神奈川県と東京都からの参加者が7割以上を占めた。

3 スタンプ取得の状況

総スタンプ取得数	15,729 個 一人あたり平均取得数：8.77 個
条件達成者①	1,052 人（スタンプ 3 個以上取得）
条件達成者②	510 人（スタンプ 10 個以上取得）
条件達成者③	60 人（20 市町かつスタンプ 20 個以上取得）
条件達成者④	20 人（全 96 スタンプ取得）

・スタンプ取得の総数(各チェックポイント訪問者数の合計)は 15,729 個であり、一人あたり平均8か所以上を訪問した計算となった。

4 賞品の応募状況

来訪賞(スタンプ 3 個以上取得)	応募者数：552 名(条件達成者①の 52.5%) 当選者数：40 名(1,500 円相当の地場産品)＜倍率 13.8 倍＞
周遊賞(スタンプ 10 個以上取得)	応募者数：324 名(条件達成者②の 63.5%) 当選者数：15 名(4,000 円相当の地場産品)＜倍率 21.6 倍＞
コンプリート賞 (20 スタンプかつ 20 市町周遊)	応募者数：49 名(条件達成者③の 81.7%) 当選者数：5 名(4,000 円相当の地場産品)＜倍率 9.8 倍＞

・各賞の条件を満たした応募者を対象に抽選を行い、抽選の結果当選した方に、20 市町推薦の地場産品を景品として送付した。

6 チェックポイント別スタンプ取得数（全 96 か所）

順位	スポット名称	種別	所在市町	訪問人数 (取得スタンプ数)
1	蛭ヶ島	QR	伊豆の国市	636
2	ぶしのくに静岡県観光案内所(大河ドラマ館隣接)	QR	伊豆の国市	537
3	眞珠院	QR	伊豆の国市	476
4	史跡北条氏邸跡(円成寺跡)	QR	伊豆の国市	475
5	願成就院	音声	伊豆の国市	421
6	北條寺	QR	伊豆の国市	392
7	北条政子産湯の井戸	GPS	伊豆の国市	333
8	北条時政の墓(願成就院内)	GPS	伊豆の国市	327
9	三嶋大社	音声	三島市	318
10	豆塚神社	QR	伊豆の国市	313
11	守山八幡宮	GPS	伊豆の国市	301
12	法華寺	GPS	三島市	282
13	日枝神社	QR	伊豆市	276
14	成福寺	QR	伊豆の国市	271
15	心経寺	GPS	三島市	268
16	間眠神社	GPS	三島市	259
17	妻塚観音堂	GPS	三島市	258
18	北条義時館跡(江間公園)	GPS	伊豆の国市	249
19	六萬部寺	QR	函南町	234
20	指月殿	音声	伊豆市	227

研究所夜間公開の実施

(水産・海洋技術研究所伊豆分場)

(目的)

静岡県では浜松県と静岡県が合併して静岡県となった8月21日を「県民の日」とし。各施設で毎年様々なイベントを行っています。伊豆分場では「県民の日」事業の一環として、「伊豆の海とのふれあい」をテーマに、飼育実験室の公開や、タッチプールなどを行います。現在参加者を募集しています。

(概要)

- 1 日時 令和4年8月12日(金)
 - ①18:00～19:00、②19:00～20:00、③20:00～21:00(3回)
- 2 会場 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場
- 3 対象 一般県民(県民以外の方もOK。事前予約制。各回20名程度)
- 4 内容
 - (1) 飼育実験室公開
周辺に生息する魚や「海藻を食べてしまう魚」を展示
 - (2) 「ところてん」の試食と作り方説明
天草から作った「ところてん」の試食と、おうちでできる「ところてん」の作り方の紹介
 - (3) タッチプール
研究所周辺に生息する魚介類と直接触れ合い
※荒天時はタッチプールを中止し、チリモン教室を実施
- 5 申込方法
メールの件名またはFAXの冒頭に「研究所夜間公開申込」と御記入いただき、
 - ・おところ(市町村までで構いません)
 - ・おなまえ
 - ・参加希望人数
 - ・希望する回次(時間帯)
 - ・連絡先電話番号(FAXによる申込の場合は必須)
 以上を明記の上、メールまたはFAXにて申込
- 6 申込先
E-mail: suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp
FAX: 0558-22-9330
- 7 締切
令和4年7月29日(金)



平成25年夜間解放の様子

担当：普及班 岡田

連絡先：0558-22-0835

E-mail: suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp

令和4年7月22日

定例記者懇談会資料

消費生活出前講座の実施（8月予定分）

（賀茂広域消費生活センター）

（主旨）

賀茂広域消費生活センターでは、消費者被害の未然防止を図るため、悪質商法に関する知識やその対処法についての講座や、SDGsの達成のため消費者ができる消費行動のひとつであるエシカル消費[※]の普及の講座等を通年で実施しています。7月の出前講座の予定は下記のとおりです。

日 時	会 場	講座内容	対象者等
8月24日（水） 13：30～14：30	稲生沢公民館	悪質商法にだまされ ないために	にこにこ会 20名程度

※ エシカル消費

「エシカル」とは、「倫理的な」とか「道徳的な」という意味。

人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することです。

例) 森林保全につながる製品を選ぶ、フェアトレード商品を買う、地元の商店で買い物をする

担 当： 賀茂広域消費生活センター
連絡先： 0558-24-2206 松 永